

受験情報（願書・出願書類など）

今年度から、願書に添付する写真（進路用写真）がデータでもよい学校が増えてきました。昨年度までは、学校で写真を撮影してシールになった紙ものの写真を願書に張り付けていましたが、今年度から学校で撮影した写真を、受験生が選んで購入するシステムに変更になります。選び方は3種類あって、①データでもらう ②紙ものでもらう ③両方もらう になります。料金は①・②が1,000円で、③が1,400円を予定しています。

流れとしては、11月10日（火）に学校で写真撮影をして、その後一定の期間内に各家庭でQRコードを読み込んで料金を支払います。すると、その際に登録した各家庭のアドレスに、ダウンロードカードが送られてきて、それを使ってデータをダウンロードして願書に張り付けることができます。

今のところ、道立高校全部と私立高校のほとんどがデータ対応しています。逆に市立高校と私立高校の一部がデータに対応していなくて、紙ものの写真を紙願書に張り付ける方法をとります。併願受験する生徒で場合によっては両方の申し込みが必要になります。裏ワザとして上級者は、データのための申し込みでコンビニなどでサイズを指定してプリントアウトして紙ものの写真を作ることも可能です。

願書に張り付ける写真は、撮影後6ヶ月（一部3か月）以内の写真というルールがありますので、大部分の生徒が受験する公立高校の日程に合わせて写真撮影の日を決めています。そのため、それより早い時期に受験手続の必要な生徒は個別の対応になります。写真屋さんの店舗に出向くか、自分で撮影するかのいずれかになります。担任の先生や進路の先生に相談してください。

第2回進路希望調査について

○第1回進路希望調査より調査方法が変わりました

今回の調査から具体的に、公立高校は受けるのか受けないのか。私立高校は受けるのか受けないのか。受けるとしたら、A日程はどこの高校、B日程はどこの高校。さらにどの課程のどのコースにするのかということを書いてもらうことになります。特に私立高校のコースは、複雑で覚えづらい名前もありますので、必ず高校のHPを確認するなどして正確に書く練習をしてください。もちろん今回の希望調査で書いた高校を必ず受けなければならないというわけではありませんので、あくまで現時点でのそれぞれの希望を書いてください。

【その他留意事項】

- 署名欄は、それぞれ本人の直筆で正しい漢字で記入してください。受験の願書も同様に書く（プリントアウトする）のですが、昨年度に正しい漢字で書かなくて、受験できなくなるかもしれない状況になったケースがありました。
- 記入ミスした場合は、二重線を引いて消して、その横か上に正しく記入してください。
- すべて、黒ペンで記入してください。
- 私立高校について、原則A日程やB日程どうしても受験できないので、受けたい高校がA日程なのかB日程なのかHPなどでよく調べて記入してください。
- ほとんどの高校（公立高校、私立高校問わず）が、推薦受験は自己推薦になります（一部私立高校が数校校長推薦が残っていますが…）。この場合、面接で各学校のスクールポリシーや教育目標のようなものに、いかに自分がふさわしいかアピールできるようにするということを理解して選んでください。
- 札幌周辺の私立高校以外を受験する場合（具体的にはA日程やB日程以外の場合）は、B日程の欄に書いてください。
- 単願とは、その学校しか受けないことです。専願とは、ほかの高校も併願受験するけど受かったらその高校に必ず行くということです。

以上、自分一人ではなく、家族とよく話をして記入してくださいね。